

新たな経済団体の運営モデルの創造

(1) 会員本位の組織運営

会員訪問活動の実施

「会員本位」の視点に立った事業の企画・運営を行うため、事務局職員が3,680件の会員を訪問。本会議所事業の説明・PRを行うとともに、各種会合・セミナーへの参加やサービスの利用を勧めたほか、会員からの意見・要望を伺った。

[成果・実績]事務局職員の会員訪問件数は3,680件。平成15年度からの訪問累計は1万7,000件に達した。

会費の口座振替制度の導入

会員の会費支払い手続きの省力化および手数料の無料化を目的に、会費の口座振替制度を来年度から導入することとし、12月以降、会員に制度の告知を行った。

[成果・実績]3,000件以上の会員が本制度を利用する予定となっている。

新会員情報システムを活用した運営の効率化

本年度から本格稼働させた「新会員情報管理システム」により、会員の基本属性・ニーズ、参加者データ、会員訪問活動の中で聴取した本会議所に対する意見・要望などを蓄積・整理し、会員ニーズを反映した事業の開発・運営と効果的なPRが行える仕組みを構築した。

(2) 本会議所事業・サービスの広報・PR強化

本会議所事業・サービスの紹介パンフレット「大商便利帖」の作成

多岐にわたる本会議所の事業・サービスをわかりやすく説明するパンフレットとして、「大商便利帖 2005年版」を5万部作成した。

[成果・実績]機関紙「大商ニュース」に同梱して、全会員に配布した。また、会員訪問活動や新規入会の勧誘ツールとしても利用し、各種会合・イベントやサービス等のPRに努めた。

機関紙「大商ニュース」と「大商メールマガジン」の発行、ホームページの充実

本会議所の活動を広報するとともに、経営に役立つ情報を会員に提供するため、機関紙「大商ニュース」を22回発行した。本年度は、各界の識者による寄稿「『大阪賑わい創出プラン』への期待」や、独自性・地域性を発揮しつつ事業に取り組む支部の活動を紹介する「エリア・チェンバーから」などを連載し紙面を充実させた。また、「大商ニュース」に会員企業のPRチラシを同梱して配送する「同梱サービス」を開始し、会員企業のビジネス機会創出ツールとして利用できるようにした。一方、電子媒体として「大商メールマガジン」を毎週発行したほか、ホームページを大幅にリニューアルし、読みやすさ・使いやすさを追求するとともに、入会促進のため会員メリットを強調した。

[成果・実績]メールマガジンの登録読者数は2万919人、ホームページのトップページへの年間アクセス件数は69万6,090件、総ページビューは489万2,524件と前年度に比べ大幅に増加した。

<大阪商工会議所ホームページ>



URL = <http://www.osaka.cci.or.jp/>

(3)個人情報保護法対応、セキュリティ対策の強化

4月に個人情報保護法が施行されたことに伴い、本会議所でも同法に対応する取り組みを行った。

[成果・実績]「個人情報保護基本方針」「個人情報の取得・利用・提供に関するお知らせ」として機関紙、ホームページに掲載し周知した。また、「個人情報保護管理規定」や運用マニュアルを定めたほか、業務委託先との契約の見直し、職員研修などを通じ、情報を漏洩させない組織作りに努めた。

(4)会員メリットの充実による会員増強運動の展開

会員にとって「なくてはならない経済団体」として、事業を活性化し、その浸透を図るためには、組織基盤の強化が不可欠であるとの考えから、新規加入件数3,000件を目標に会員増強運動を展開した。具体的には新会員紹介キャンペーンの継続実施や、会員メリットをより分かりやすく解説した会員増強ホームページの拡充など、会員、事務局が一致協力して運動に取り組んだ。

[成果・実績]新規加入件数は3,649件に達した。新規加入件数の内訳は法人会員1,314件、団体会員30件、個人会員2,122件、特別会員183件。

(5)新制度による議員選挙・改選の円滑な実施

議員の改選

本年度は議員(定員150人)の改選期(任期3年)であったことから、5、6月に、各部会で2号議員(定数52人)を選任した。また、今回の改選から議員総会で選任することになった3号議員(定数22人)を7月の通常議員総会で選任した。さらに、10月に1号議員選挙を行い、会員・特定商工業者の投票によって76人を選んだ。今回は定数76人に対して77人が立候補し、投票総数は14万7,952票、投票率は58.3%であった。

役員の変更

7月に開催した通常議員総会で、大野隆夫氏が専務理事を退任し、新たに灘本正博氏を専務理事に選任した。

また、新議員選任後、11月に開催した臨時議員総会で、任期満了に伴う役員の変更を行い、野村明雄氏(大阪ガス(株)会長)を会頭に再任した。また、副会頭は、井植敏氏・大西隆氏・古田武氏・今井清輔氏が退任、小池俊二氏(株)サンリット産業社長)・大林剛郎氏(株)大林組会長)・樋口武男氏(大和ハウス工業(株)会長)の3氏を再任するとともに、新たに西村貞一氏(株)サクラクレパス社長)・佐藤茂雄氏(京阪電気鉄道(株)社長)・石橋三洋氏(日本生命保険(株)副会長)の3氏を選任した。さらに、専務理事(1人)、常議員(50人)、監事(3人)を選任した。